

第2章

活動組織および活動計画

第2章 活動組織及び活動計画

2-1 活動組織

本報告の活動組織は次のとおりである。

2-1-1 課題代表者

課題代表者	所属・職位
浅沼 修一	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授

2-1-2 活動実施者

活動実施者	所属・職位
浅沼 修一	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授
前多 敬一郎	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授
榎原 大悟	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・准教授
伊藤 香純	名古屋大学農学国際教育協力研究センター・准教授
伊藤 圭介	名古屋大学国際部国際企画室・特任准教授
田和 正裕	名古屋大学国際環境人材育成センター・特任教授
村上 裕道	名古屋大学大学院生命農学研究科・特任教授
永石 雅史	名古屋大学国際環境人材育成センター・特任教授

2-2 活動期間

平成22年5月31日～平成23年3月10日

2-3 活動日程

活動内容	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事務局体制の整備												
動的ホームページ構築												
ネットワーク運営委員会(メール稟議を含む)												
オープンフォーラム又はシンポジウム												
JICAとの連携協議												
国内関係機関訪問によるネットワーク拡充												
海外調査と共同提案プロジェクトの作成												
リソース・ニーズ調査と分析												
国内報告会												
報告書作成												

2-4 成果物

本事業は、報告書の作成に留まらず、JISNAS が恒常的に活動が続ける体制を整備し、活動を継続することがそれ自体で大きな成果であると言える。平成 22 年度の活動を通じて期待される成果は以下の通りである。

<組織の強化>

- ネットワークの強化・拡大
- JICA をはじめとする ODA 関係者との連携強化

<研究成果の公表・広報>

- 国際協力に関わる情報共有のための基盤整備（JISNAS ホームページの改修、JISNAS 便りの配信等）
- 学術雑誌「農学国際協力」の発刊

<国際協力事業の形成・実施>

- 開発途上国援助ニーズの把握
- 国際共同研究・国際協力事業の形成・実施

上述に加え、具体的には以下の成果物が期待される。

- ・ 農学知的支援ネットワーク構築プロセスの記録
- ・ 自立運営を目指したネットワーク運用体制の構築に関する報告書
- ・ 科学技術 ODA 事業の取り組みに関する報告書
- ・ 国内知的援助リソース/海外支援ニーズの調査結果に基づく国際協力政策に対する提言

2-5 活動資金

9,331 千円